

受動喫煙防止のため全事業所敷地内を全面禁煙に

～従業員の勤務時間内の禁煙も制度化し健康経営を推進～

自動車内装部品の総合メーカーの林テンプ株式会社（本社：名古屋市中区、代表取締役社長：林 貴夫）は、2022年1月1日より、受動喫煙防止活動の一環として、当社が管理する全ての事業所を「敷地内全面禁煙」といたしました。また当社グループに所属する従業員は、勤務時間内の休憩時間中も敷地内外問わず禁煙します。

当社は、全ての働く人の健康の確保は、経営の基盤であり、社会的責任であるとの認識のもと、安全・快適な職場づくり、心と身体の健康づくりを積極的に推進しています。

喫煙に関しては、健康増進法および同法の一部を改正する法律の下、2017年より受動喫煙による健康被害の低減を図るため、様々な施策に取り組んでまいりました。たばこは吸い終わった後も一定時間呼気から有害成分が排出され続けることから、喫煙対策をより拡充すべく、敷地内全面禁煙化及び勤務時間中の禁煙の制度化に至りました。

【受動喫煙防止に向けた取り組み】

	施策
2017年10月	グループ全体での禁煙推進宣言を発信
2020年7月	毎月22日を「全社禁煙 DAY」に設定
2021年4月	本社（名古屋市中区）を全面禁煙化
2022年1月	全事業所の全面禁煙化、従業員の勤務時間内の禁煙を制度化



2021

健康経営優良法人

Health and productivity

当社は、従業員への生活習慣改善指導やメンタルヘルスケア、喫煙対策などの継続した健康推進活動が評価され、2021年3月に経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に認定されました。

今後も「健康志向の職場風土づくり」、「社員一人ひとりの健康レベル向上」、「働きやすい職場環境の構築」の3つの柱で、心と身体の健康づくりを推進し、従業員が健康で生き活きと働く職場づくりを進めてまいります。